



## プロジェクト名称

### I.O.G(Be Inspired! Movies of globalization)

## プロジェクト活動概要

このプロジェクトは一年で四つの段階を踏まえながらグローバル化の意識調査に関する映像を制作していきます。

第一、本校学生の留学未経験者にグローバル化に対する意識調査を行います。

第二、本学への留学生、留学経験者への意識調査を行います。

第三、韓国、マレーシアの大学に通う学生にグローバル化への意識調査を行います。

第四、これまでの調査で撮影した映像を編集し今年度の芝浦祭、来年のグローバルデーや大宮祭にて放映します。

このプロジェクトは映像の放映をきっかけに一人でも多くの本学学生がグローバル化への強い意識を持ち具体的な行動に移してもらうことが最終目標です。

## 活動状況報告&活動写真など 活動期間：2016年1月1日～3月31日

今回は今後海外で仕事することはどんなことなのかを調べるために、そして私たちが理解しているグローバルの意味を立証するために、春休み中の二日間で外国人密度日本一高い群馬にあるブラジル村に調査しに行ってきました。日本に長年に住んで、そして日本人と多く関わっているブラジルの方、ブラジル人だけと関わるブラジルの方、外国人の配偶者を持つ日本人に話を伺いました。

事前に以下のような質問を用意しました。

1. 日本にはいつきたですか？
2. 誰と一緒に来ました？
3. 家族は一緒に来なかったですか？
4. 小さい時の写真はありますか？
5. なんで日本に来たか
6. 大学などでどんな勉強しましたか？
7. 今何をしていますか？
8. 帰りたいですか？
9. 日本との違いを教えてもらってもいいですか？どちらがいいですか？
10. 今の生活に満足していますか？
11. グローバルの意味は何？
12. どんな人がグローバルだと思えますか？

具体的な質問で多くの外国人の方が自国の環境が日本に比べ劣っていたことが日本に来た原因がわかりました。日本の経済が安定で、家族が日本にいて安全だから日本にいたり、日本の方がビジネスチャンスがあるとか、老後生活きちんとしてるから日本に残るとかがありました。ただし、日本にいて不安のところもあります、日本人との付き合い、国のことが恋しいとかの不安も言及されました。



人間が誰しも安定できる場所で過ごす事を生きている上で最低の条件だと思います、特に発展途上国の方は自国よりも他国の環境が優れているので国から出る事も考えられることですが、日本は経済も医療も一定の基準に達しているのだから自国から出ないことも通常だと思うが、海外と比べて日本はグローバルではないとか、もっと国際化に進めとか、海外にたくさん経験した方がいいとか。それはおかしいと思います、確かに他言語が話せて、経験が多いことが魅力的かもしれないが、多くの人にとって安定が第一目標だと思います。もしかすると多くの方が考えているグローバル人材と違いますが、本当の意味のグローバルの方は国籍、肌色、学歴、障害有無関係なく、どんな人も受けいられて、一緒に仕事できる人だと思います。



メンバーの津田がブラジルと日本の方を取材している模様です



取材を受けている日系ブラジル人の木村様です



### 今後の活動計画、目標、意気込みなど

去年の6月中に行った学生プロジェクトの再会からおおよそ一年間の活動行いました。今回のテーマは本当の意味のグローバル人材とはどんな人なのかとのことで芝浦の在学生、留学生、留学を経験した学生に色々なアンケートとインタビューを実施しました。そして納得した答えにたどり着きました。本当のグローバルの意味は人によってそれぞれあるかもしれないが、将来で答えが変わるかもしれないが今後もさらなる模索でその答えを実証して行きたいと思います。

そして多くの人に自分たちの答えを知ってもらい、映像で影響を与えていきたいと思っています。